



情報誌

FAR

64号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email: office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

4代目会長就任のご挨拶

会 長 藤田 透



2022 年 4 月 16 日、パシフィコ横浜で開催されました本年度世話人会により会長に選任されました。コロナ禍ということで、なかなか顔を会わせての世話人会が出来なかったのですが、久しぶりの会議で不肖の私が次期会長に就任するよう要請を受けた次第です。

FAR 会(Fellowship for the Advancement of Radiology)は 21 世紀の幕開けと共に設立(2001 年 4 月)され、これまで橋本 宏先生、山田勝彦先生、川上壽昭先生が会長となり育てていただきました。前任の先生方のように大所高所からの運営とはいきませんが、任された 4 年間で世話人の先生方のお力添えをいただきながら尽力したいと思っています。

本家の公益社団法人日本放射線技術学会は今年で創立 80 周年を迎えました。今日までの発展を思うと誠に有難く先達に感謝するばかりですが、この FAR 会も古くは「明治会」に端を発し、その後 1986 年からの「三交会」(明治会・会長会・実行委員長会を統合)を受け継いだということです。いずれの会も JSRT の運営・発展に貢献された方々が定年退職され、JSRT からの情報も乏しくなり、また現役時代に親しかった方々とも疎遠になりがちとなることから、情報交換の場・懇親の機会を作れないかという声が高まり発足した OB 会です。詳細は川上壽昭前会長が第 63 号巻頭言で紹介されています。今後とも、会員の皆様のご希望に沿った運営を心がけたいと思っています。

規約の目的には「この会は、会員の親睦を図ることを旨とし、併せて JSRT の発展を支援する」としています。幸い、JSRT の白石代表理事を始めとして現役の役員の皆様も入会いただいております。情報交換により多少なりとも応援ができるとしたら FAR 会の存在価値も高まると思っています。FAR 会事業の 2 本柱は春秋の学術大会開催時における懇親の場の提供と年 3 号の機関誌の発行です。今後もこれに注力して運営してまいります。これまでの「懇親会の記録」を次ページに纏めておきます。

FAR 会への入会は JSRT 役員経験者としていますが、役員経験がなくても本会会員の推薦により学会関係者ならどなたでも入会できます。この会の趣旨にご賛同いただきまして、お申込みください。皆様のご入会を心からお待ち申し上げています。



内 容

- | | |
|---------------------------------------|-----------|
| 1. ごあいさつ | 会 長 藤田 透 |
| 2. 秋季大会へのお誘い | 大会長 飯田紀世一 |
| 3. 会員動向 | |
| 4. 会からのお知らせ | |
| 5. JSRT 情報 | |
| 6. 寄稿「心に残る photograph-Gelbe Taglilie」 | 川越市 森 克彦 |
| 7. 編集の小窓 | |

FAR会懇親会の記録

開催日	会場	参加者数	世話人	学術大会
2002/4/5	三宮ターミナルホテル(神戸)	42名	後藤、木村	第58回総会(神戸市)
2002/10/19-20	湯元 湯の川(出雲)	29名	川上、木村	第30回秋季(松江市)
2003/4/13	そば処 蜂本(鎌倉)	20名	四宮、小川	第59回総会(横浜市)
2003/10/11-12	男鹿観光ホテル(男鹿)	25名	加賀、木内、有馬	第31回秋季(秋田市)
2004/4/10-11	水月(湯河原)	25名	木村、四宮、小川	第60回総会(横浜市)
2004/10/23-24	もみじ屋別館(高尾)	32名	山田勝、野原、山	第32回秋季(大阪市)
2005.4.10-11	オオクラアカデミアパークホテル(鴨川)	24名	小川、山田和、速水	第61回総会(横浜市)
2005/10/22-25	指宿R、霧島山麓荘(指宿・霧島)	25名、13名	山田和、木村、下野、中村	第33回秋季(鹿児島市)
2006/4/8	初芳鮨(関内)	37名	四宮、小川、萩原明	第62回総会(横浜市)
2006/10/21-22	GH瑞苑(定山溪)	24名	柴田、萩原康、菊池、木村	第34回秋季(札幌市)
2007/4/14	初芳鮨(関内)	32名	石井、萩原明、木村	第63回総会(横浜市)
2007/10/27-28	BH花真珠(鳥羽)	24名	前越、山、木村	第35回秋季(名古屋)
2008/4/4	龍鳳酒家(関内)	33名	松井、萩原明、山	第64回総会(横浜市)
2008/10/25-26	ホテル高松(草津)	17名	平林、山、飯山	第36回秋季(軽井沢市)
2009/4/18	初芳鮨(関内)	27名	小川、萩原明、四宮	第65回総会(横浜市)
2009/10/24-25	季譜の里(湯郷)	15名	川上、金山、藤田	第37回秋季(岡山市)
2010/4/10	美濃吉(横浜)	35名	萩原明、森、藤田	第66回総会(横浜市)
2010/10/16-17	一の坊(松島)	18名	佐々木、加賀、木内、有馬、藤田	第38回秋季(仙台市)
2011/4/9	屋形船すずよし(横浜)	中止	石井、藤田	第67回総会(横浜市)
2011/10/30-31	夢海遊(淡路島)	31名	神澤、藤田、清水	第39回秋季(神戸市)
2012/4/14	屋形船すずよし(横浜)	26名	石井、藤田	第68回総会(横浜市)
2012/10/6-7	ホテルおかだ(箱根)	22名	山田和、四宮、伊藤敏	第40回秋季(東京都)
2013/4/13	レストラン・スカンディア(横浜)	26名	萩原明、宮崎	第69回総会(横浜市)
2013/10/19-20	大望閣(唐津)	19名	富吉、佐藤	第41回秋季(福岡市)
2014/4/12	岩亀本店(横浜)	29名	速水	第70回総会(横浜市)
2014/10/11-12	登別グランドホテル(登別温泉)	21名	萩原康	第42回秋季(札幌市)
2015/4/	利休庵本店(横浜)	31名	伊藤敏	第71回総会(横浜市)
2015/10/10-11	ホテル海望(和倉温泉)	19名+幼児	宮地	第43回秋季(金沢市)
2016/4/16	聘珍樓(横浜)	36名	前田	第72回総会(横浜市)
2016/10/15-16	ホテル春茂登(日光温泉)	14名	石井、森、橋本廣	第44回秋季(大宮市)
2017/4/15	馬車道十番館(横浜)	30名	平野	第73回総会(横浜市)
2017/10/21-22	ホテル宮離宮(安芸・宮島)	17名	川上、神澤、藤田	第45回秋季(広島市)
2018/4/14	BEER NEXT(横浜)	29名	江島	第74回総会(横浜市)
2018/10/6-7	松島センチュリーホテル(松島)	19名	梁川	第46回秋季(仙台市)
2019/4/13	ザ・サウス(横浜)	28名	橋本	第75回総会(横浜市)
2019/10/19-20	ホテルピアザ琵琶湖(大津)	27名	小水	第47回秋季(大阪市)
2020/4/	中 止			第76回総会(WEB)
2020/10/	中 止			第48回秋季(中止)
2021/4/	中 止			第77回総会(横浜市)
2021/10/	中 止			第49回秋季(熊本市)
2022/4/16	美濃吉(横浜)	26名	石井	第78回総会(横浜市)
2022/10/7	第一両国ホテル北斎(東京)		森	第50回秋季(東京都)
2023/4/15			佐藤幸	第79回総会(横浜市)
2023/10/			藤田卓	第51回秋季(名古屋市)
				第80回総会(横浜市)
				第52回秋季



寄付をいただきました



コロナ禍ということもあって特段の事業は出来ませんでした。FAR会は昨年創立20年を迎えました。この度、これを祝って川村義彦先生から10万円の寄付をいただきました。川村先生には厚くお礼申し上げますとともに、有り難く今後のFAR会の運営に活かさせていただきます。

《秋季大会へのお誘い》

《第50回日本放射線技術学会秋季学術大会へのお誘い》

心 技 体 Ready to Go ! “Next Stage”

大会長 飯田紀世一



第50回秋季学術大会は2022年10月7日(金)～9日(日)の会期にて東京都墨田区横網の国際ファッションセンター(KFC Hall&Rooms)にて開催します。

本来第48回秋季学術大会として2020年10月に開催する予定でありましたが新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより止む無く開催中止となりました。しかしながら2年先延ばしして回数を新たに第50回として開催することとなり、3年間の準備期間を経て待ちに待った東京での第50回大会の開催が実現いたします。新型コロナウイルス発生当初は2年もすれば収束するだろうと予想し

ていたものの、反していまだに変異を繰り返しては猛威を振るい続け一向に収束しておりません。しかしながらこの間世界は大きな変革を余儀なくされ、ニューノーマルが浸透し、学会もハイブリッド開催がニューノーマルになりました。本大会も、現地開催とオンデマンド配信のハイブリッド開催となっています。ハイブリッド開催の利点は、現地の空気を肌で感じ研究者同士交流して人脈を広げることができ、オフイシャルではない話し合いが出来る現地開催の良さと、いつでもどこからでも興味あるプログラムをゆっくりまた何度でも自分の好きなように視聴できる、あるいは職場で同僚と意見を交換しながら視聴できるオンデマンドの利便さがあります。50回という節目を迎え秋季学術大会ハイブリッド開催という新たな開催方式を確立させていきたいと思ひます。

第50回 日本放射線技術学会 秋季学術大会

TOKYO 2022



Ready to Go !
“Next Stage”

10 / 7TH - 9^{SUN}
2022

会場 KFC Hall & Rooms
東京都墨田区横網1-6-1国際ファッションセンタービル

大会長 飯田紀世一/東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
実行委員長 谷畑誠司/東京女子医科大学病院



↑大会HPはこちらよりアクセス
<https://www.jsrt.or.jp/gmeeting/shuki50/>

主催：公益社団法人 日本放射線技術学会 (JSRT)
協賛：一般社団法人 日本ラジオロジー協会 (JRC)
後援：公益社団法人 日本診療放射線技師会

大会テーマは「心 技 体 Ready to Go ! “Next Stage”」です。本学会は、放射線技術の発展に寄与することを主な目的としています。このために、放射線技術をより発展させるため研究を続けることが重要であり、我々はその技術を患者に提供することが使命です。研究により放射線技術をさらに高め患者に寄り添った安全安心な医療の提供が出来て、その技術が実を結ぶことになります。研究・診療に取り組む心や患者を思いやる心、チーム医療といった組織体制、医療安全や線量管理、機器管理といった管理体制、そして技術を支える医療機器の進歩も必要不可欠であり、それらの上で技術の発展が成り立っています。そして医療を含む社会が新たなステージに入りつつあり、放射線技術も“Next Stage”へ飛躍していかなくてはなりません。本大会が「心 技 体」の調和と“Next Stage”を考える機会となることを願っております。

特別講演として戦場カメラマンの名で著名な渡部陽一氏に「戦場の医療現場から」とのテーマで講演を頂きます。実行委員会からは大会テーマに沿った4つの企画と、学術大会では初めての試みとなる「医工連携ニーズマッチング会」を企画いたしました。また JSRT-JART 合同シンポジウム、常置委員会企画、代表理事直轄委員会、各専門部会教育講演およびフォーラム、入門専門講座、JIRA ワークショップおよび JIRA 発表会と様々な企画がされています。活発な討論がなされ大会が盛り上がることを期待しております。

FAR 会の諸先輩方が安心して両国にお出で頂けるよう谷畑実行委員長をはじめ実行委員一同、しっかりと準備して参ります。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

~~~~~

### 《会からのお知らせ》

\*\*2022 年 8 月 25 日現在\*\*

会 員 数 : 91 名 (内 : 名誉会員 16 名)

計 報 : 稲井 敬 兵庫県西宮市 (8 月 2 日で 86 歳)

8 月 5 日連絡あり 計報に接し謹んでお悔やみ申し上げます。

新入会者 : 土橋俊男 (8 月 24 日付け)

会費納入 :

4 月～7 月 : 10 名 (2 年度分:1 名, 3 年度分:2 名, 5 年度分:7 名)、2022 年度分合計 86,000 円

FAR 会 2022 年度 秋季懇親の夕べのご案内

- ・日 時 : 2022 年 10 月 7 日 (金) 19 時より 21 時 (2 時間を予定)
- ・会 場 : 国際ファッションセンター (KFC) ・第一ホテル両国
- ・会 費 : 11,000 円
- ・代表幹事 : 森 克彦

寄 付 : 5 月に川村義彦氏より FAR 会 20 周年記念として 10 万円の寄付がございました。  
有り難うございました。

会員名簿の訂正

5 月にお送りした会員名簿に多数の間違いがあり以下に (正誤表を次ページに) 記します。  
ご迷惑をおかけしました。

名簿の追加訂正

熊谷孝三 メールアドレス : [kknst@outlook.jp](mailto:kknst@outlook.jp) 電話 : 090-7393-2882

船橋正夫 メールアドレス : [masaof@hotmail.com](mailto:masaof@hotmail.com)

# 会員名簿の正誤まとめ

| 氏 名   |   | 項目 1                         | 項目 2                        |
|-------|---|------------------------------|-----------------------------|
| 上田 克彦 | 誤 | 〒264-0048                    |                             |
|       | 正 | 〒286-0048                    |                             |
| 川村 義彦 | 誤 | kawamura@nms.ac.jp           |                             |
|       | 正 | spc54u29@diary.ocn.ne.jp     |                             |
| 小寺 吉衛 | 誤 |                              | kodera@met.nagoya-u.ac.jp   |
|       | 正 | TEL 082-437-3766             | ykodera8@gmail.com          |
| 佐藤 公悦 | 誤 | 神奈川県横浜市港北区新吉田東6-10-28        | sato@torek.co.jp            |
|       | 正 | 神奈川県横浜市港北区新吉田東6-19-25        | sato@toreck.co.jp           |
| 清水 久子 | 誤 | uztb_smz3456@key.ocn.ne.jp   |                             |
|       | 正 | kyoto-shimi@gaia.eonet.ne.jp |                             |
| 白石 順二 | 誤 | i2s@kumamoto-u.ac.jp         |                             |
|       | 正 | j2s@kumamoto-u.ac.jp         |                             |
| 鈴木 昇一 | 誤 | 〒470-9155                    | 愛知県愛知郡東郷町白鳥4丁目2-5           |
|       | 正 | 〒470-0155                    | 愛知県愛知郡東郷町白鳥4-3-5押草団地302-503 |
| 隅田 博臣 | 誤 | TEL 802-223-6048             | hsumida0115@gmail.com       |
|       | 正 | TEL 082-223-6048             | hsumida0115@gmail.com       |
| 辻岡 勝美 | 誤 | TEL 0565-28-5085             | tsujioka@fujita-hu.ac.jp    |
|       | 正 | TEL 090-2617-7593            | tsujioka@fujita-hu.ac.jp    |
| 土井 邦雄 | 誤 |                              |                             |
|       | 正 | TEL 027-215-0779             |                             |
| 中園 誠善 | 誤 | 〒529-0834                    |                             |
|       | 正 | 〒520-0834                    |                             |
| 西谷 源展 | 誤 | nisitani@m.gmob.jp           |                             |
|       | 正 | m-nisitani@m.gmob.jp         |                             |
| 福西 勝司 | 誤 | fukunish@zf6.sonet.ne.jp     |                             |
|       | 正 | kfukunish@outlook.jp         |                             |
| 松原 馨  | 誤 | 〒201-0016                    |                             |
|       | 正 | 〒201-0015                    |                             |
| 宮崎 茂  | 誤 | 東京都八王子市横川町914-8              |                             |
|       | 正 | 東京都八王子市横川町614-8              | TEL 042-625-6405            |
| 村上 長善 | 誤 | 〒665-0817                    |                             |
|       | 正 | 〒565-0817                    |                             |
| 森 克彦  | 誤 | mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp    |                             |
|       | 正 | mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp    |                             |
| 森 雅嗣  | 誤 | mpri@emedicaltokyo.co.jp     |                             |
|       | 正 | mori@emedicaltokyo.co.jp     |                             |
| 梁川 功  | 誤 | TEL022-367-3559              |                             |
|       | 正 | TEL022-356-3559              |                             |
| 山田 勝彦 | 誤 | k-yamada@az.em-net.ne.jp     |                             |
|       | 正 |                              |                             |

## 《JSRT 情報》

### 『第 50 回秋季学術大会』

大会テーマ：「心 技 体 Ready to Go! “Next Stage”」

大会長：飯田紀世一（東京慈恵会医科大学病院）

会 期：2022 年 10 月 7 日（金）～9 日（日）

会 場：国際ファッションセンター（東京都墨田区横網）

### 『第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会』

大会テーマ：「Be a Game Changer in Medicine With Radiology」

大会長：市田隆雄（大阪公立大学医学部附属病院）

会 期：2023 年 4 月 13 日（木）～16 日（日）

会 場：パシフィコ横浜

## 《寄 稿》

### 《心に残る photograph-Gelbe Taglilie》

川越市 森 克彦

自宅からウォーキングで西北に 15km 程行くと小さな場所若宮公園があります。普段はWC & 手洗い・うがい等に利用しているが、6 月に入り植物の緑が鮮やかさを見せると同時に花を咲かせる時期にふと、花壇を眺めるとレモンイエローの「マンシュウキスゲ（満州黄萱）」を公園の片隅の花壇の中に見つけました。四季折々に咲く花は心に平和と豊かさを感じさせます。レモンイエローのマンシュウキスゲを見つめていると「ノカンゾウ（野萱草）」（ユリ科ワスレグサ属の多年草で、日本中の山野によく見られる野草で、土手や川辺から高山まで自生します。）を思い浮かべました。

マンシュウキスゲをドイツ語名では、Gelbe Taglilie（ゲルベ ターグリリエ）と言って、黄色い 1 日ユリという意味ですが、ノカンゾウは、Gelbrote Taglilie（ゲルベローテ ターグリリエ）と言い、黄赤色の 1 日ユリという名前をもち、大変覚えやすいネーミングです。

その反対に和名は複雑で、マンシュウキスゲに関しては 2 つの学名（*Hemerocallis lilioasphodelus*, *Hemerocallis flava* L.）にマンシュウキスゲと名前が付いています。さらに園芸名（デイリリー、ヘメロカリス）とも呼ばれるようで、学名がないと同じ花なのか、違う花なのか、それとも別名なのか、解りにくいです。

花 名：和名、学名、ドイツ語名、英語名

和 名：マンシュウキスゲ（満州黄萱）

学 名：*Hemerocallis lilioasphodelus*

ドイツ名：Gelbe Taglilie

英 名：Lemon daylily, lemon lily, yellow daylily

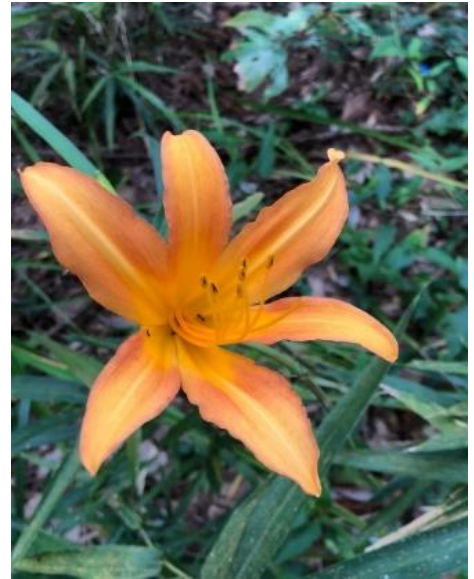
原 産 地：中国、ロシア、ヨーロッパ



マンシュウキスゲ →



ノカンゾウ →



~~~~~  
《編集の小窓》

私の登別温泉

子供のころ温泉と言ったら登別温泉のことだった。今も何故そうなるのかよく分からない。他にも温泉は沢山あるのに、登別温泉だけは特別であった。洞爺湖にも定山溪にも温泉は有るのにやはり特別であった。小学校高学年で修学旅行に行ったのも登別温泉であった。何故なんだろう。考えてみて思った。登別温泉はやはり特別な温泉地なのだと、思えた。そして考えた。この特別な感情は何処から来るのだろう。ずーと登別温泉に浸っていた訳では無いし、ほかに遊びもあったであろうに。子供の頃を思い浮かべると確かに古い温泉地では在った。湯煙の中でボーと浮かび上がる影を思い浮かべている。両親はいたと思えるのだが記憶にはない。何処でどう繋がっているのか不思議でどうしようもない。まだクマ牧場は無く記憶が正しいとしたらそこは山であったと記憶している。もちろんケーブルカーも当時は開業していない。記憶では大浴場が有るだけの状態であった。何時から登別温泉が特別になったのかひも解いてみたい、と言うより何故だろうと考えてみたい。まず、私は本当に温泉好きなのかを考えてみたい。答えは簡単です。やはり私は温泉が大好きです。子供の頃から浸かっていた登別温泉をもっともっと讃えてみたいと思う。

子供の頃から浸かっていた登別温泉はどういうところだろう。江戸時代中期に北海道を探検した最上徳内（もがみ とくない）が記した『蝦夷草子』に以下の記述が残されている。この『ノボリベツ』はアイヌ語の『ヌプルベツ』、「白く濁った川・色の濃い川（一説に「霊力のある川」とも）」の意味が有り、地名「登別」の語源になったと言われています。また北海道の名付け親の松浦武四郎によっても登別温泉は知られております。このような歴史もあるのですね。今の登別温泉はクマ牧場が有りそして地獄の鬼がいます。毎年地獄祭りがあって8月の最終土曜、日曜に開催されています。地獄の蓋が開いて閻魔大王と鬼が大暴れをする設定になっているようです。私自身参加したことが有りませんが、一度は見てみたいと思っています。クマ牧場では今年生まれた子熊がお迎えします。じゃれあっていて結構かわいいもんですよ。そのままでは成長しないので年齢におうじて大きくなりますが、それが大きくなると本当に恐ろしいです。馬のお尻などもひとたたきで、人間などはひとたまりもありません。本当に怖いです。北海道弁では「オッカナイ」と言っています。また傾斜地を利用したロープウェイも有ります。急な斜面を力強く上り下りしています。紅葉の頃に訪れると素晴らしい絶景が目に入ります。あたり一面の紅葉が歓迎してくれます。そして北海道の秋はすぐに訪れるので、急に寒く感じる時もありますが、その時の陽だまりが暖かく感じる時もあります。北海道の秋は確かに寒いです。ある時、真冬に登別温泉に行ったのですが、露

天風呂は温かったのですが風が冷たくてとても入ってられず震えあがった事も良い思い出となっています。真冬の露天風呂は特に要注意です。

温泉に溶けている泉質は9種類と規模に比べて非常に多く、ふりい言われ方ですが温泉のデパートなどと呼ばれています。硫黄泉、食塩泉(塩化物泉)、明ばん泉、ぼうしょう泉、緑ばん泉、鉄泉、酸性泉、重曹泉、ラジウム泉硫黄泉など9種類の温泉に浸かることが可能となります。このように登別温泉の効用は多岐にわたり温泉を十分に堪能できます。また温泉の自然湧出量は一日1万トンに及びます。温度は45～90℃の高温で世界的にも珍しい温泉です。その上9種類の各温泉に入れる事は是非とも堪能して頂きたいと思っています。各効能についての詳しい説明は省きましたのでホームページ等を参照して頂けたらと思います。

登別温泉には地獄谷と言われる所があります。歩いて10分くらいで着きます。地獄谷と言われるほどです。すから怖いとは思われますがそれ程でもありません。遊歩道から観察してみると、ブクブクとお湯が沸き出ており、地獄とはこういう所かと納得いたします。硫黄のにおいが凄くて大丈夫かなと思うほどです。ここでは真冬用の長靴のレンタルがあり観光客及び外国の方に好評です。こういうサービスは北海道ならではのおもてなしといえるでしょう。冬にはぴったりのサービスです。

また鬼祠が鎮座していて、見るからに怖そうな青鬼と赤鬼が恐ろしい顔をして観光客をお待ちしています。右に赤鬼、左に青鬼が本当に本当に恐ろしい顔をして出迎えてくれます。座っている青鬼、立っている赤鬼に睨まれたら何も出来なくなるでしょう。赤鬼と青鬼の前で記念撮影を行うことが出来ます。鬼の前での緊張感もまた良いものです。

登別温泉についていろいろとお話ししましたが、再度言わせてください。何が何でも、どうしても素晴らしいのは登別温泉です。どう素晴らしく、どう大事なのかはおいておき、とにかく登別温泉そのものが素晴らしいの一言に尽きます。9種類の温泉が素晴らしい事を確認して、やはり子供の頃から入っていた登別温泉は特別な温泉です。

石井 勉、記



FAR 情報誌 No. 64(非売品)

発行日 2022年9月15日

発行者 藤田 透

編集委員会

森 克彦 (委員長)

石井 勉 (委員)

江島光弘 (々)

山田和美 (顧問)



連絡先

Tele. faxed : 049-225-2619

Email : mokamokawh@gmail.com

mo-katsu@jt4.so-net.ne.jp